

## 第1章 いじめ問題の理解

【PTA人権教育研修会支援事業】 【生徒指導主事会】 【いじめ防止子どもサミット】

### 取組を通して見えてきた課題

- 各校の基本方針が①実態や課題に応じたものになっているか②実効性のあるものとなっているか、さらに検討する必要がある。
- いじめ問題への教職員の意識や学校間で取組の差が見られる。

### いじめ問題の理解についての学校間の格差の改善

#### 【課題等を踏まえた重点ポイント】

- ①いじめ問題に関する基本的内容を網羅的に掲載し、教職員がいつでもいじめ問題の理解ができるようにするとともに教職員間の理解の格差を改善する。
- ②各学校の実態を踏まえた学校基本方針の見直しの推進。

- ※掲載内容
- いじめの定義と構造
  - 高知県のいじめの認知件数・対応状況について
  - 高知県いじめ防止基本方針の解説
  - 重大事態のガイドライン
  - 学校いじめ対策委員会を中心に据えた組織的対応 等

いじめ問題対策連絡協議会・子ども・保護者・教員の声から得られた主な視点や課題

- 教員のアンテナの弱さがいじめの早期発見や対応を困難にしている。
- 各校の状況や教員の実態に合わせて研修できるプログラムが必要である。
- 予防・未然防止の視点を大切にされたプログラムが必要である。

## 第2章 いじめ問題への教員・保護者・地域研修プログラム

【PTA教育行政研修会】 【PTA人権教育研修会支援事業】 【学校支援地域本部等事業】

### 取組を通して見えてきた課題

- 保護者がネット上のトラブルから子どもを守るための方法を知らない状況がある。
- 保護者の法に基づくいじめの定義の理解が十分でない。
- いじめの研修への取組や意識について、学校間や地域間で格差が見られる。
- いじめ問題への取組についての学校と地域との連携に地域間で差がある。

### 学校や地域の実情やニーズに対応できる研修プログラムの充実

#### 【課題等を踏まえた重点ポイント】

- ①学校や地域の実態やニーズに応じ、教員、保護者・地域それぞれの研修プログラムを構成。
- ②メンターを中心としたプログラムの活用促進・各学校におけるOJTを充実。

- ※掲載内容
- |                |                               |                      |
|----------------|-------------------------------|----------------------|
| <b>教員用</b>     | ○いじめの定義と構造の理解                 | ○いじめを早期発見するために       |
|                | ○組織的ないじめへの対応のあり方(組織的共有・組織的対応) | ○未然防止に向けた学校の取組について 等 |
|                | ○いじめ事例を通じた対応                  | ○ネットいじめへの対応          |
| <b>保護者 地域用</b> | ○いじめ問題に関する基本的な内容              |                      |
|                | ○子どもたちとのコミュニケーションのポイント        |                      |
|                | ○いじめの未然防止や早期発見のための子どもへの関わり方 等 |                      |

いじめ問題対策連絡協議会・子ども・保護者・教員の声から得られた主な視点や課題

- 学校と家庭との連携の難しさがいじめの早期発見や対応を困難にしている。
- 実例をもとにいじめ対応マニュアルが入ったプログラムが必要である。
- 校内の状況や教員の実態に合わせて、研修できるプログラムが必要である。
- 保護者の研修にも活用可能なプログラムが必要だ。
- 保護者として重要なのはいじめに早く気づいて寄り添うことである。

## 第3章 いじめ予防等(学習)プログラム

【いじめ防止子どもサミット】 【学校支援地域本部等事業】 【道徳教育実践充実プラン】 【高知夢いっぱいプロジェクト推進事業】 【非行防止教室相談】

### 取組を通して見えてきた課題

- 全国学力・学習状況調査の児童生徒の道徳性を問う質問には、道徳の内容項目「規則の尊重」にあたる質問において、肯定的回答が小・中学校ともに全国より低い。
- 自己肯定感や自己有用感、規範意識が十分に育まれていない児童生徒がいる。
- 児童生徒がいじめ問題を自分事ととらえ、いじめ防止等に向けた主体的な取組に学校間で差がある。
- 体験活動等を通じた地域とのつながりが十分でない学校がある。

### 子どもたちがいじめ問題に向き合い、行動化へつなげる教材開発の推進

#### 【課題等を踏まえた重点ポイント】

- ①いじめを起こす要因に対応した個別学習プログラムの開発。
- ②児童生徒主体のいじめ防止に向けた取組や地域との関わりを通じた実践の強化。
- ③道徳性や社会性の醸成、自己有用感等の向上に向けた取組のさらなる充実。

※いじめ予防等(学習)プログラムの観点(資料下段に詳細掲示)

#### いじめを生まない人間関係づくり

日々の学校生活ですべての児童生徒がお互いの違いを認め、支え合うために必要な人間関係力やコミュニケーション力の育成を目的としたプログラム

#### いじめを生まない基盤づくり

すべての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる基盤づくりのために必要ないじめについての知識・理解を目的としたプログラム

#### いじめを生まない・いじめに負けない気持ちづくり

すべての児童生徒がいじめ問題に毅然と立ち向かうことができるために、いじめを絶対にしない気持ちの調整や自分を大切にできる力の育成を目的としたプログラム

いじめ問題対策連絡協議会・子ども・保護者・教員の声から得られた主な視点や課題

- いじめを起こす要因として些細なきっかけやコミュニケーション不足、抑止力の低下、他者受容の低さが多い。
- SNS等を使って間接的に攻撃するので、相手の痛みが分からず、エスカレートしていきのではないかと。
- 予防・未然防止の視点を大切にされたプログラムが必要である。
- 特別支援教育の視点を大切にされたプログラムが必要である。
- 知識・理解から生活場面と結びついた行動化につながるプログラム構成とする必要がある。

○ いじめ予防等(学習)プログラムの構成について

- 子どもたちがいじめ問題と向き合い、行動化につなげるための網羅的なプログラムを構成。
- いじめ予防等を考える視点として「いじめを生まない人間関係づくり」「いじめを生まない基盤づくり」「いじめを生まない・いじめに負けない気持ちづくり」の3観点を設定し、学校等で既に実践されている内容に加え、実効性のあるプログラムにするために「新たに取り組むポイント」、「学校間格差を解消するための強化ポイント」を明確化。
- 3観点を軸にプログラムを構成することで、各学校の実態やニーズに応じ、必要とする教材を選択できるように配慮。

○ プログラム構成骨子

★ 新たに取り組むポイント    ● 学校間格差を解消するポイント

観点	いじめ予防を目的とした個別学習プログラム	児童会・生徒会を通した予防等の取組	各教科等と関連した普遍的な学習内容		地域との連携を通した取組
			各教科・総合的な学習及び特別活動など	特別の教科 道徳	
<p><b>いじめを生まない人間関係づくり</b></p> <p>日々の学校生活ですべての児童生徒がお互いの違いを認め、支え合うために必要な人間関係力やコミュニケーション力の育成を目的とした内容</p>	<p>● <b>【人間関係づくりプログラム】</b></p> <p>人間関係づくりの活動を通して、児童生徒相互、児童生徒と教職員、子どもと保護者とのよりよい人間関係の形成を図る学習プログラム</p>	<p>● <b>【児童会・生徒会活動を通した予防等取組の紹介】</b></p> <p>○「高知家」児童会・生徒会サミット</p> <p>○いじめゼロ宣言 ネット宣言</p> <p>○児童生徒によるいじめアンケートの実施</p> <p>○ポスターによる啓発</p> <p>○ありがとうカードの取組</p> <p>○仲間づくり活動</p>	<p><b>【自己指導能力の育成を図る授業・人権が尊重される授業の推進】</b></p> <p>自己指導能力の育成を図る授業・人権が尊重される授業の具体的な場面</p> <p>○子ども一人一人に学ぶ楽しさや自分が参加しているという充実感を味わわせることができる授業</p> <p>○お互いに認め合い、学び合うことができる授業</p> <p>○自ら課題を見つけそれを追究し、自ら考え、判断し、表現する授業</p> <p>※自己指導能力の育成を図る授業・人権が尊重される授業を実現するために必要な三つの機能(視点)</p> <p>①自己存在感を与えること ②共感的人間関係を育成すること ③自己決定の場を与えること</p>	<p><b>【道徳科の視点】</b></p> <p>○ 主として人との関わりに関すること</p> <p><b>【道徳科の内容項目】</b></p> <p>○ 親切、思いやり ○ 感謝 ○ 礼儀 ○ 友情、信頼 ○ 相互理解、寛容</p>	<p><b>【地域と児童生徒との関わりを中心とした豊かな体験活動例】</b></p> <p>○学習支援 ・授業補助 ・放課後学習 ・学習プリント丸つけ ・読み聞かせ 等</p> <p>○地域活動 ・学びによるまちづくり ・地域課題解決型学習 ・郷土学習 ・伝統芸能 等</p> <p>○部活動指導(部活動支援)</p> <p>○学校周辺環境整備 ・草刈り ・清掃活動 ・プール掃除</p>
<p><b>いじめを生まない基盤づくり</b></p> <p>すべての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる基盤づくりのために必要ないじめについての知識・理解を目的とした内容</p>	<p>★ <b>【いじめ理解学習プログラム】</b></p> <p>いじめについての知識や生活と結びつけた理解を通して、いじめを自分自身と共に学級、学校全体の問題として考える力の形成を図る学習プログラム</p>			<p><b>【道徳科の視点】</b></p> <p>○ 主として人との関わりに関すること △ 主として集団や社会との関わりに関すること</p> <p><b>【道徳科の内容項目】</b></p> <p>○ 礼儀 △ 規則の尊重</p>	
<p><b>いじめを生まないいじめに負けない気持ちづくり</b></p> <p>すべての児童生徒がいじめに立ち向かうことができるためにいじめを絶対にしない気持ちの調整や自分を大切にできる力の育成を目的とした内容</p>	<p>★ <b>【感情調整力醸成プログラム】</b></p> <p>不安や怒りなどの感情のコントロールやストレスの軽減、自尊感情の醸成を図る学習プログラム</p>			<p><b>【道徳科の視点】</b></p> <p>□ 主として自分自身に関すること ☆ 主として集団や社会との関わりに関すること ◎ 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p> <p><b>【道徳科の内容項目】</b></p> <p>□ 善悪の判断、自律、自由と責任 □ 正直、誠実 □ 個性の伸長 ☆ 公正・公平・社会正義 ◎ 生命の尊さ ◎ よりよく生きる喜び</p>	<p>○学校行事支援 ・運動会準備・片付け 等</p> <p>○見守り活動 ・上記活動の中での見守り ・登下校の見守り ・マラソン大会見守り 等</p>

○ プログラム作成にあたっての強化ポイント

個別学習プログラムについては、いじめの予防や効果的な支援の研究を進めている専門機関と連携

児童会・生徒会を通した予防等取組については、今までの取組に加え、H30年度に実施している児童生徒会援隊で得られた成果も掲載